学校番号	T0108

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「国語表現　改訂版」　（大修館出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・欠席することなく、積極的な態度で授業に臨むこと。
・定期考査前には、試験範囲を指示するので、ポイントをしっかりおさえて考査に備えること。
・４年次は、自分の進路獲得を目標にする学年である。進路獲得に向けて必要な知識・技能を養い、努力を重ねること。

2　学習の到達目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、自分の思いや考えを広げたり深めたりし、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、役割などについて理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	出席状況 授業態度 記述の点検 （プリント教材）	記述の点検 （プリント教材） 行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の点検 （プリント教材） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （プリント教材） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(4・5・6・7・9月)	表現力を培う	教材: 「書いて伝える」 ・「整った文を書くこと、わかりやすい文を書くこと」の重要性を確認する。 ・文と文のつなぎ方を理解する。	○		○	○	a: 教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。わかりやすい文の大切さを理解しようとしている c: 伝える目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを知ろうとしている。 d:整った文を書くための修辞やルールを習得しようとしている。	観察 出席状況、授業態度、プリントの記述、定期考査等
前期(4・5・6・7・9月)	表現力を培う	教材: 「小論文・レポート入門」 ・自己PRや志望動機、入試の小論文に対応できる文章の型を学習する。	○	○	○	○	a:自分の進路獲得のために必要なことであると自覚し、教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 b: 自分の思いや考えが伝わるよう、どのような展開で表現するかを考え、判断することができる。 c:自己PR・小論文の形式を知り、効果的にその形式を活用しようとしている。 d:自己PR・小論文の表現の特徴を知ることができる。	観察 出席状況、授業態度、プリントの記述、定期考査等
後期(10.・11.・12.・1・2・3月)	表現力を培う	教材: 「自己PRと面接」 ・前期で学習したものを基に、模擬面接を行い、効果的な自己 PR や志望動機を学習する。	○	○	○	○	a:教材に興味を持って取り組んでいる。 b:自分の思いや考えが伝わるように話の構成や展開を工夫している。 c:自分の考えを明確にし、具体例などを挙げ、表現の仕方に工夫ができる。 d:自分の思いや考えを表現するために語彙を豊かにしている。	

後期（10.・11.・12.・1・2・3月）	表現力を培う	教材： 「声とコミュニケーション」 ・人前で自分のことについて話し、相手に自分の伝えたいことをわかりやすく伝える方法を確認する。	○	○	○	○	a： 教材に興味を持って取り組んでいる。 b： 自分の思いや考えが伝わるように話の構成や展開を工夫している。聞き取った情報を吟味し、自分の考えを広げたり、深めたりしている。 c： 自分の考えを明確にし、具体例などを挙げ、表現の仕方に工夫ができる。 d：整った文章を書くための修辞やルールを理解している。	
後期（10.・11.・12.・1・2・3月）	表現力を培う	教材： 「会話・議論・発表」 ・場面ごとにふさわしい話し方や言葉遣いを知り、ロールプレイをとおして、場面に応じた話し方を学習する。 ・集団で話し合う際、生産的で実りのある議論の方法を学習する。	○	○	○	○	a： 教材に興味を持って取り組んでいる。 b：相手の反応に応じて、言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。互いの主張や論処を吟味したり、話合いの発言を工夫したりするなど、話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c：目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 d： 自分の思いや考えを表現するために語彙を豊かにしている。	

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。